
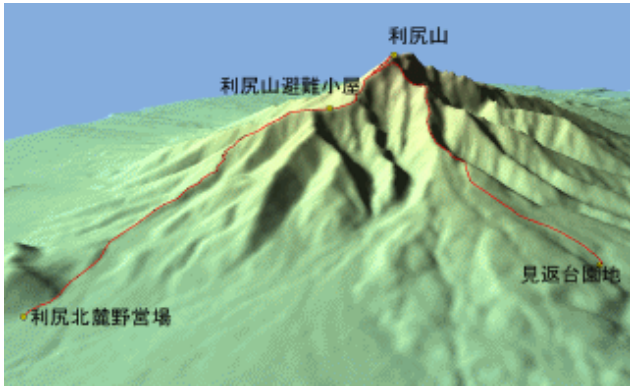


<h2 style="text-align: center;">月度個人山行報告書</h2>			報告者	町田 修	参加メンバー	L: 町田 (ファミリー: 3名)
			報告日	05/8/24		
山域	北海道 利尻島	山行日	05年8月			
山名	利尻山		10(水)			

山行目的	2005年 岩登り講習会(全豊田山岳連盟)	コースタイム:	天候: 快晴
------	-----------------------	---------	--------

配布先	ルート図
集会:12	
山行:1	
原紙:集会担当者	


--

8月10日(水)	(下り)
5:40 北麓野営場発	11:40 九合目
6:40 6合手前	:50 火山岩のジャリ道は難儀です
:50 鷺泊の港がよく見える	12:40 七合半
8:05 七合半	:50 シマリスに良く出会う
:15 「ちしま桔梗」がきれい	13:15 7合目
8:40 8合目	:30 テーピングで足首の手当て
:50 尾根道は景色良好	14:40 3合目
9:25 九合目	:50 甘露水の水がおいしい
:35 此处からが正念場	15:00 テンバ着
10:25 山頂	16:10 撤収 移動
:50 念願がかないました	16:30 利尻温泉 (キャビン)

山行報告 前日(8/9)稚内から最終のフェリーで鷺泊の港に入った。港の食堂で海の幸を肴に一杯やり、登山口の野営場に着いた時はすでに薄暗くなり始めていた。さっそくテントを設営し、明日の早朝発ツール「おにぎり」をつくる。すっかり暗くなった外に出るとスゴイ!満天の星である。ときどき星が空からこぼれている。明日の天気は約束されたようなものだ。

さて、早朝(と言っても5時40分)出発する。山頂まで標高差1,500m、ファミリーペースでは5時間の覚悟は必要だ。長い一日のスタートである。日は燦々と照っているが樹木の影がさして割と涼しい。さほど汗もかかずに高度かせぐ。7合目あたりから森林限界を超えて島の麓まできれいに見える。稜線の心地よい風を受けながらひたすら登る。いろいろな高山植物やシマリスが現れて疲れをいやしてくれる。子供たちは遙か先をグイグイ登り、私たちの到着までゆっくり休む戦略でいたって余裕である。9合目から(ここからが「正念場」の看板あり)火山岩のガラ場をフィックスロープを使いながら約5時間で海上の山頂に立った。洋上の礼文島は見えなかったが久々の感激山行である。

下りの最中、食事中(木の実を食べていた)のシマリスに会った。カメラを向けるが食事に忙しく一向に気にしない。天敵は驚ぐらいだと思うが、ずいぶん人馴れしているものだ。



チシマリンドウ

確認(リーダー)	長時間の歩きで足の動きが鈍くなった妻に長男を付けて、私と次男で先行して下り、先にテントを撤収して時間をかせぎ麓の温泉
作成(報告者)	「ゆーに」でゆっくりくつろぐ。
	以前から登りたかった利尻山(岳)におだやかな海を渡り、快晴の山を計画どおりに登れて幸せな一日だった。

町田
05.08.22